

ぼくのおとうさん

鹿児島県 出水市立米ノ津小学校二年 上村 皓大

「おとうさん、あした、なんじにかえつてくるの。」

おとうさんは、ときどきかいしゃのしゅつちようで、おうちにないときがあります。そんなときは、ぼくはさびしくて、おとうさんのこえをききたくて、けいたいでんわします。おとうさんがでんわにでると、ぼくはあんしんします。こえをきくと、もつとおとうさんにあいたくなつて、「はやくかえつてこないかなあ。」とおもいます。

ぼくのおとうさんは、とてもやさしいです。おとうさんは、かいしゃのおしごとがいそがしくて、おやすみもあまりないです。だけど、おやすみのひには、いつしよにおでかけしてくれます。ぼくは、おとうさんといっしよにおでかけすることが大すきです。かゐものについてたりプールについてたり、まえは、しんかんせんにのつたり、きりしまにかぞくりようにつれていつてくれたりしました。

このなつやすみには、ぼくたちきょうだい三人の「プールにいきたい。」

というおねがいをきいてくれました。おとうさんは、ちいさいプールで、ぼくがおよぐれんしゅうでつたつてくれました。ぼくは、おおきなプールにちようせんしたけれど、おもつたよりふかくて、ばたばたしていたらプールのそこまですずんでしまいました。ひついでプールサイドにあがったけれど、ちよつとこわくなつて、はいろつかどうしようかまよつ

ていました。おとうさんはすぐにとんできて、ぼくをおんぶしてくれました。おとうさんのせなかはおつきくてきもちよくて、ぼくはどつてもうれしかつたです。おとうさんのせなかにいると、プールもこわくなくなつて、たのしくなつてきました。こわがつていたぼくをたすけてくれたおとうさんは、やつぱりやさしいです。そんなやさしいおとうさんが、ぼくは大すきです。

いつもやさしいおとうさんだけど、おこるときもあります。おこつたときのおとうさんは、おおきなこえでおこるのでこわいです。でもそれは、ぼくがやくそくをまもらなかつたり、ものをだいにしなかつたりしたから、おとうさんはおこつたんだとおもいます。

おこるときはこわいけど、やつぱりおとうさんのことがすきです。それに、かぞくのためにおしごとをいつしよけんめいがんばつてくれるおとうさんは、すこくかつこいとおもいます。

おとうさん、いつも、ぼくたちのために、たのしいおもいでをつくつてくれてありがとう。こんどは、かぞくみんなで、またしんかんせんにのつてみたいな。おしごとがいそがしいけど、いつか、ゆつくりおやすみがとれたらいいな。おとうさん、これからも、からだにきをつけて、おしごとがんばつてね。ぼくがおとなになったら、おとうさんとおかあさんをりようにつれていくからね。たのしみにしていてね。おとうさん、ぼくは、やさしいおとうさんのこどもで、ほんとうによかつたです。